

急傾斜地危険箇所

避難勧告・指示の基準を定めました

市では、大雨・大地震などの際に市民のみなさんが速やかに避難できるようにし、被害を最小限に食い止めるため、降雨と東海地震の2項目について、急傾斜地危険箇所の避難勧告・指示基準を、下表のとおり定めました。このうち、降雨については、数値基準を設けています。

なお、市内の急傾斜地危険箇所は、生活安全課に備え付けの図面または、県のホームページ(アドレス=www.pref.kanagawa.jpから災害情報→土砂災害危険箇所の検索・表示→市町村名)で確認できます。

☎ 同課(☎235・4790)。

■急傾斜地危険箇所の避難勧告・指示基準

1 降雨に関する事項

Table with 3 columns: 数値基準, 第1警戒体制, 第2警戒体制. Rows include rainfall thresholds and corresponding evacuation measures.

2 東海地震に関する事項

Table with 2 columns: 東海地震注意情報の発表時, 警戒宣言発令時. Rows include evacuation locations and measures.

自治基本条例 提言書が提出されました
海老名市自治基本条例の策定に向けて、このたび同条例策定検討委員会から、同条例の骨子案提言書が提出されました。

市民・議会・市(行政)の規範となるものです。同検討委員会は、市民、学識経験者、市職員で組織され、約1年に渡って条例の基本となる考え方や、条例に盛り込むべき内容について、研究・検討を重ねてきました。

市の役割、市の責務などです。市では今後、この提言書に基づいて条例案を作成し、市議会に諮っていきます。
なお、提言書の詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。お問い合わせください。
☎ 同課(☎235・4634)。



市では、10月1日(日)から、証明書の自動交付機を市庁舎附属棟1階に増設します。また併せて、利用時間も午後9時30分までに延長します。

住民票の写し・印鑑登録証明書

自動交付機を増設

10月からご利用は午後9時30分まで

◆附属棟に設置

増設する自動交付機は、市役所附属棟に設置します(上地図)。利用時間は、午前8時30分から午後9時30分です。ただし、12月29日から翌年1月3日までと、保守点検日(年2回程度・不定期)は利用できません。

で、土曜開庁日は正午まで利用可)。自動交付機を使って取得できる証明書は、①住民票の写し(本人または世帯員。ただし、除票や改製原住民票の写しは取れません)と、②印鑑登録証明書(本人のみ)です。手数料は、いずれも1通につき300円です。利用の際は、小銭をご用意ください。

◆暗証番号を登録した「市民カード」が必要です

自動交付機の利用には、暗証番号を登録した「海老名市民カード」が必要です。お持ちでない方や、暗証番号が未登録の方は、事前に本人が、本人確認書類(運転免許証・パスポートなど)と認

市民満足度調査

「歴史的遺産・文化の保全」満足度連続1位

☎ 行政経営課(☎235・4697)

市では、市民のみなさんから見た生活環境や市政施策への満足度と重要度を把握し、行政評価の一つとして活用し、今後の市政運営に役立てていくことを目的として「海老名市民満足度調査」を実施しました。

居住地域別「重要度」

Table with 4 columns: 地域別, 今回調査1位(前回1位), 今回調査2位(前回2位), 今回調査3位(前回3位). Rows list various districts and their top priorities.

「満足度」の高い施策・低い施策
総合的に満足度の高い施策は、①歴史的遺産・文化の保全②地球環境の保全③商業の振興の順です。前回調査で上位6位までの施策が、いずれも上位を占める結果となりました。

「重要度」トップは防犯対策の強化
総合的に重要度の高い施策は、①防犯対策の強化②保健医療の充実③地球環境の保全の順になっています。

保健医療の充実③地球環境の保全の順になっており、防犯対策の強化は2回連続1位です。一方、低いものは①平和・都市交流の充実②観光の振興③商業の振興の順になっています。居住地域別では右表のとおりで、防犯対策の強化が、各地域で重要度が高いと評価されています。このほか、保健医療の充実や地球環境保全の充実などが上位を占めています。